

被災地からのさしいれ 愛

ビジョン

2011年4月9日

供養のようなイベント

地球イベント

自分は主催している立場のようでもあり
また多くのひとが存在たちが参加して
彼らのアイデアももちより

次ぎにいく場所のようなものの
アイデア 活動のアイデアも
ふくらんでいく。

いろいろな場所 国 世界
地球 宇宙のいろいろなレベルから
ひとや存在たちが集り 参加している。

みなころから参加している。

積極的に動いて

ほかの場所にも行って

参加を続けるひとや存在が多い。

と、60代くらいのわりと年配のご夫婦のような

おじさん おばさん 田舎のかた風が

10リットルくらい はいりそうな

おおきな銀色の缶に いっぱいはいった

いろいろな味の いろとりどりの飴玉

つめあわせたものをさしいれてくださる。

うしろのほうから

それはひかえめに

そっと さしだしてくださる。

被災地の田舎のほうから

はるばる こられたようだ。

思いがけず缶にたくさんはいった

飴玉をいただき みな 感動

じ〜んとする。 し〜んとする。

被災地のかたから

いただいている。

甘いのが チョコレート
ホワイトチョコレートのが
おすそわけに 回ってきたけど

わたしは うめぼしの飴玉が
いいなと思った。

飴なのに塩辛い
不思議飴

涙味 でも甘い

おじさん おばさん
本当にありがとう。

被災した田舎はたいへんだと思うけど
わざわざきてくれて ありがとう。

おおきな缶にいっぱいはいった
飴玉 ありがとう。

愛をありがとう。

わたくしたちがたくさん

いただいています。